

問 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。



高島市地震ハザードマップ

問 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。

問 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。

問 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。



高島市備蓄「安定ヨウ素剤」

答 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。

問 警戒区域は、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあることを認められる区域です。特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れがある区域です。



粟津 泰藏 議員

学校統廃合を急がず、特認校制度で学校も地域も元気に

問 市長は市教育委員会に学校統廃合を要請したが、昭和48年の文部省通達では「無理な統廃合は行わない、地域住民の理解と協力を得て行う」とされている。

答 小規模校にメリットがあることは承知してはいますが、子どもの数が少ないことで制約を受ける教育活動も多々あります。学校教育は集団で行うことを基本としており、友人との交流の中で成長できる環境が望ましいと考えます。時機を失することなく、教育基盤づくりに取り組みが必要でありま

問 各電力会社と締結した安全協定は、原発の存在を前提としており、廃炉予定の原発にも保守運営・増設・再稼働を進める内容である。しかし自治体の同意や事前の了解を必要としない。市は、廃炉協定を結ぶべきだと考えるがどうか。

答 安全協定は、現に原子力発電所が存在しているという現状を踏まえた上で、市民の安全・安心を確保するために行政が関与できる手段として締結したものです。再稼働や新増設を進めることを前提としたものではありません。

問 県道・社交差点の道路改修を。

答 赤色灯の設置、路面標示の新設、標識看板の設置、ガードロープへの改善等を実施したところです。併せて信号機の設置を関係機関に強く要望しております。



国道161号「マキノ町西浜交差点」

問 県道・社交差点の道路改修を。

答 赤色灯の設置、路面標示の新設、標識看板の設置、ガードロープへの改善等を実施したところです。併せて信号機の設置を関係機関に強く要望しております。

問 県道・社交差点の道路改修を。

答 赤色灯の設置、路面標示の新設、標識看板の設置、ガードロープへの改善等を実施したところです。併せて信号機の設置を関係機関に強く要望しております。



大槻ゆり子 議員

障がい者の就労支援について

問 障がいのある方でも、誰もが自分が必要とされ、社会に出て働く事は、大きな生きる喜びに繋がると思うことから、次の点を伺います。

答 現在事業所の平均利用率が84%で、希望の事業所に通所可能ですが、この利用率は年々上昇しているため、将来的に希望する所へ通所できなくなるのが課題となっております。

問 障がい者の就労支援について

答 現在事業所の平均利用率が84%で、希望の事業所に通所可能ですが、この利用率は年々上昇しているため、将来的に希望する所へ通所できなくなるのが課題となっております。

学童の運営基準を作り、市の責任を明確に



福井 節子 議員

問 安曇川学童が、4小学校から通う環境変化に運営課題が出ている。

答 国のガイドラインに添い、児童の健全育成に市の責任を明確にする条例化もしくは運営基準を制定すべきです。

問 安曇川学童が、4小学校から通う環境変化に運営課題が出ている。

答 国のガイドラインに添い、児童の健全育成に市の責任を明確にする条例化もしくは運営基準を制定すべきです。

問 安曇川学童が、4小学校から通う環境変化に運営課題が出ている。

答 国のガイドラインに添い、児童の健全育成に市の責任を明確にする条例化もしくは運営基準を制定すべきです。

高島市備蓄「安定ヨウ素剤」